



# 水稻（福井米）

# 病虫害防除速報



## カメムシの生息は平年より多い！ 防除を徹底！

福井県農業試験場は7月9日に斑点米カメムシの注意報を発表しました。

7月上旬の水田畦畔・雑草地における斑点米カメムシ類の生息数は、全体として平年より多い。また、水田への侵入も多くなることが懸念されます。現在、ハナエチゼンは出穂期から穂揃い期を迎えます。出穂とともに、カメムシ類の水田内への侵入量も増加するので、穂揃期と傾穂期の2回防除を徹底しましょう。

### 1. 斑点米カメムシ類

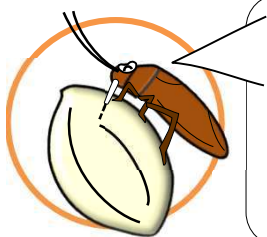
#### 【注意報の内容】

- 発生時期：成虫の本田侵入最盛期は7月下旬
- 被害程度：局多発
- 発生量：平年より多く、前年よりやや多い
- 出穂前水田においても、ホソハリカメムシ、カスミカメムシ類等が侵入している地点がみられる

#### 【防除対策】

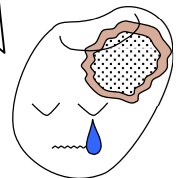
- 薬剤防除は、第1回目が穂揃期、第2回目が傾穂期の2回防除が基本です。
- カメムシ類は、水田の畦畔雑草地にもいるので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。
- 出穂後の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- ニカメイガが多い地域では、ニカメイガにも登録のある農薬を使用して同時防除を行う。

カメムシ防除は、  
穂揃期・傾穂期に実施！



斑点米は、カメムシがモミに口吻を突っ込み唾液で、子実を溶かして汁を吸い上げる。その傷跡にバクテリアやカビなどがついて変色し『斑点』ができます。

農産物検査において、斑点米は、1,000粒に2粒以上で2等米です。



#### 【カメムシ類防除薬剤】

| 回数   | 防除時期            | 区分 | 薬剤名        | 収穫前日数 |
|------|-----------------|----|------------|-------|
| 第1回目 | 穂揃期（出穂3～5日後頃）   | 粉剤 | スタークル粉剤DL  | 7日前   |
|      |                 |    | ダントツH粉剤DL  | 7日前   |
|      |                 |    | トレボン粉剤DL   | 7日前   |
| 第2回目 | 傾穂期（出穂10～14日後頃） | 液剤 | ダントツフロアブル  | 7日前   |
|      |                 |    | スタークル液剤    | 7日前   |
|      |                 |    | エクシードフロアブル | 7日前   |

適期防除で収量・品質向上を目指しましょう。